

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	地域医療支援中央会議			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成19年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室			室長: 伯野 春彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	緊急医師確保対策(平成19年5月31日政府・与党)地域医療支援中央会議開催要綱					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国において公的医療団体等が参画する「地域医療支援中央会議」を設置し、緊急臨時的医師派遣など地域の実情に応じた支援を行うことを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	地域で解決できない医師不足が生じた場合に、地域の要請を受けて「地域医療支援中央会議」を開催し、緊急臨時的医師派遣など地域の実情に応じた支援を行う。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	3	1	1	0.8	0.8			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		3	1	1	0.8	0.8			
	執行額		0	0	0.8	-				
執行率(%)		0%	0%	80%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度	
	地域で解決できない医師不足が生じた場合、地域の要請に対応できるようにすることが、成果目標である。	地域の要請に対する対応割合(要請がなかった場合は100%とみなす)	成果実績	%	100	100	100	-	-	
			目標値	%	100	100	100	-	100	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	開催回数	活動実績	回	0	0	0	-			
		当初見込み	回	10	4	4	4			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:実績額/Y:開催回数			単位当たりコスト	百万円	0	0	0.8	0.2	
				計算式	X/Y	-	-	0.8百万円/0	0.8百万円/4	
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	0.4	0.4							
	委員等旅費	0.1	0.1							
	庁費	0.3	0.3							
計	0.8	0.8								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		地域医療支援中央会議開催回数	実績値	回	0	0	0	-	-		
			目標値	回	10	4	4	-	4		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	緊急臨時的医師派遣を地域の実情に応じて行うことにより、地域において必要な医療を提供できる体制の整備をより一層促進できる。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-			
達成度	%		-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明								
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医師不足や地域格差は、地域医療の重要な課題であり国費を投入すべき。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医師不足や地域格差は、全国的な問題であり、国として財政支援を行う必要がある。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医師不足や地域格差は、都道府県においても重要な課題と認識しており、優先的に対策を実施する必要がある。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-									
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無									
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-									
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	必要な経費に限られているため、単位当たりコストの水準は妥当である。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-									
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本会議の開催に必要な経費のみに限定している。								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	各都道府県で医師確保に努力している背景もあり、本会議を開催しなければならない案件が発生しなかったため。									
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	必要最小限の回数で積算している。									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	各都道府県からの要請がなく本会議を開催していないため、成果目標に見合ったものとなっている。								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	本会議の開催がなく、見込みを上回る成果となっている。								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-									
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-									
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	-	-	-								
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、重要な課題である医師不足や地域格差への直接的な対策である医師派遣を効果的かつ機動的に行うための支援事業である。都道府県における医師確保対策だけでは補えない緊急的な医師派遣の必要性が生じた場合などに必要な事業であり、今後も継続して予算の確保に努めてまいりたい。									
	改善の方向性	予算上の開催回数について、平成26年度予算において実績を勘案して減じたところであり、改善済み。									

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善

アウトプットが0にも関わらず、執行率が80%となっていることから、より適切なアウトプットを設定するなど、レビューシートの記載方法について改善が必要と思われる。

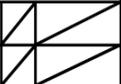
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

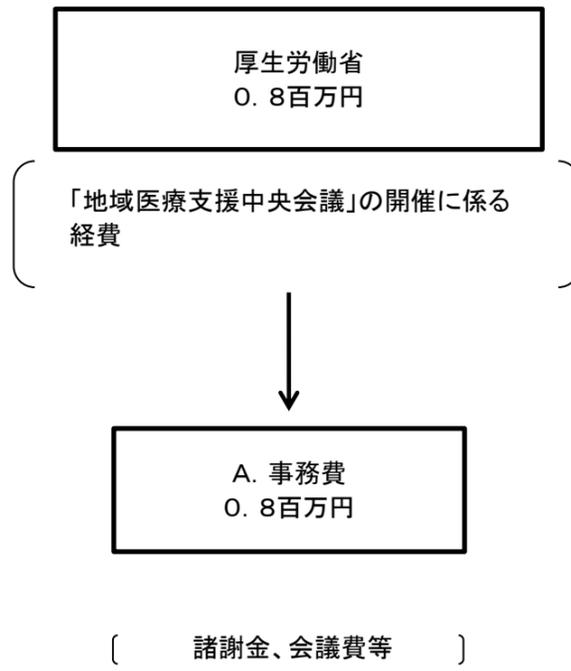
当該経費については、会議の開催に係る経費であることから、現状の開催回数が適した指標であると考えます。なお、今後、より適した指標がないか検討してまいりたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	43	平成23年度	36	平成24年度	37	
平成25年度	16	平成26年度	15	平成27年度	13	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

